

道徳だより No. 5



2020.11.27
高松市立塩江小学校

11月の道徳の日「人権学習」

「親切、思いやり」の心について考えることを中心として道徳の学習をしました。授業参観でのお子様の様子はいかがだったでしょうか。ワークシートでの子ども達へのアドバイスをありがとうございました。

1年生

これからのじぶん

やさしいことたちにすこやかにあそぶ
みんなと楽しくあそぶ
やさしくお話をきく

お家の人から

やさしいことばで「お話をきくことができる おねえさんになつてほしいです♡」
ママもやさしいことばで「はははは ママでいれるよ」かはります。



たとえ相手が自分より弱い立場の人でも、いけないことはいけないとやさしく教えてあげることも親切になることを学びました。12月には、こども園の友達との交流会があります。そこで、実践できたらいいと思います。

2年生

これからの自分
みんなと楽しくあそぶ
自分も楽しくあそぶ
みんなと楽しくあそぶ

おうちの人から

相手のことを思いやれる。優しい心を持ち続けてほしいと思います。
自分のことだけでなく、人にも関心を持ち、親切をすることが、特別なこと
ではなく、あたり前にできることになってほしいと思います。



親切にすると親切にしてもらった人だけでなく、自分も心がすっきりして嬉しくなることを学びました。同じ学年の友達だけでなく、他の学年や家族など周りの人みんなに親切にできるように取り組んでいきたいと思っています。

3年生

道とく「ほかほかの言葉」ちくちく言葉を使ったり
心がきずつくからほかほかの言葉を使
使いたいです。
ほかほかの言葉を使うように、ほかほかの言葉を言
いかけたり、みんなも分るようになる。

おうちの人から

ほかほかの言葉をつねに心にとめていて
下さいね。

相手の気持ちを考えて、やさしい言葉を使うことが大切だと学びました。また、言葉の言い方によってちくちく言葉になってしまうことに気付くことができました。普段の生活からやさしい言葉を使ったり、使っている友達を見つけたりすることができるように取り組んでいきたいです。



4年生

自分が親切にする相手は、日頃から親しい人が多いことから、「心の信号機」の学習を通して誰に対しても相手の気持ちを考えて親切な行為をすることの大切さについて考えを深めました。ただ、親切にすることはよいことだと分かっている、知らない人に声かけることへの不安や緊張があります。それを乗り越えて声をかける勇気が大事だと確認しました。



⑤ 知らない人でも知っている人でも助けたり
気持ちを思いやりするのは大切なことだから。
これから困っている人を見たら、助けたい。

お家の人から
まずは、こまっていることに気づく人になりたいね。そして、その人がどうして(辛いと思っているのか、考えよう)。あとは勇気だね。声が/番おもしろいけどできるからね!

5年生

親切なことを実行するには、みんなにやさしくしたり、人の心を思いやり、相手がされてうれしいことをしたりするのが大切だと思った。

人に親切にするとはどういうことなのか、何が大切なのか、みんなで考えました。まずは、相手の心中を想うこと、そして誰に対しても分け隔てなく行動できること、勇気をもつことなど、たくさんの大切な心があることを学びました。

お家の人から

感情をコントロールする事や、いろんな事を考えて、行動する年頃だと思えます。まずは、「考える」事をして下さい。それならどうしたらいいかわかればラメクと思えます。



6年生



お家の人から

相手の立場にたよる、親切にすることは、簡単なことではないけれど、できるような人になってほしいと思います。

男の人に席をゆずり、あげたことわかった時、おはあ人も嬉しかったと思うよ。

周りをしっかり見て、いろいろ人の立場になって気持ちを考えることできる人になってほしい。

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることを学びました。子ども達のふり返りでは、「今、大変な人、困っている人を優先して親切な行動をしていきたい。」や「困っている人がいれば相手の立場を考えて、自分が正しいと思ったことを実行していきたい。」と書いていました。普段の生活から相手のことを考え、親切な行動ができるよう取り組んでいきたいと思えます。

12月の道徳の日

人権集会(12月2日)

「協力し笑顔あふれるやさしい学校にしよう」をテーマに、人権月間(11月)中に学んだことや学級での取組の成果を発表します。各学年の発表をみて、今後の自分のありようを考えられる機会になればいいと思えます。

